

友の会 ワッショイワッショイ



「てんてんてんてん」お囃子の音が街に響き「ワッショイワッショイ」神輿を担ぐ人の掛け声が続きます。9月13日、14日、澄み切った青空のもとで鳩森神社の大祭が行われました。

お休み処として病院のピロティで「おもてなし」をしました。

13日は子ども神輿の出番でした。乳母車に乗っ

友の会のページ

「お元気ですか」改題No.320
編集 代々木健康友の会
TEL 03(5411)9589
FAX 03(3404)3421

会費納入のご案内
会費納入は、郵便振替が便利です。
会費は年間1,000円です。
口座番号 00190-7-71019
加入者名 代々木健康友の会
9月1日現在会員数約4655人



2014年共同組織拡大強化月間(1月間)は10月1日から12月27日までを期間とし病院と共同

「平和と人権・憲法を守り、誰もが安心して住みつけられるまちづくりをめざし、地域の期待」

友の会の「仲間増やし」にご協力ください

「月間」の目標は仲間

増やし200人、いつでも元氣(雑誌)の普及は30部です。

10月1日は出足は早く、病院前で職員の出動

友の会の活動の基本は

消費増税中止、社会保障改悪をやめさせ、「原発ゼロ」へ世論を上げ、宣伝署名活動をすすめます。

10月1日は出足は早く、病院前で職員の出動

友の会のドック検診と、10月〜翌年2月までがん検診を実施します。

友の会の目標は会員拡大は50名、いつでも元氣10部です。

会員の皆さんのお力添えをお願いします。

拡大月間中に、別表のように検診を設定しました。この機会に、健康チェックをしませんか。

友の会の会員さんの特別割引です。この機会に、ご友人、お知り合いにもご紹介してください。

友の会に入会すれば割引を受けられます。

料金表(税込み)

検査項目	友の会料金	(一般料金)
乳がん検診(触診+マンモグラフィ+乳房エコー検査)	3,000円	5,400円
乳がん検診と子宮がん検診(子宮頸部の細胞診セット)	8,000円	9,720円
前立腺がん検診(PSA検査)	1,200円	2,700円
大腸がん検診(便潜血2回法)	500円	2,160円
外来人間ドック	26,250円	37,800円

好評発売中
いつでも元氣10 2014年10月号 380円

「元氣スペシャル」
輝け! 地域の支え合い

新編 樹形図に描く 怒りの島・沖縄
特集1 働くもののメンタルヘルス

食と健康 徳島県から カルシウムたっぷりメニュー
発行=健康推進研究所 〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4 平和と人権センター10階 電話 03(5842)5656(代) FAX 03(5842)5657

井上院長から「病院には小児科はありませんが、地域の人たちの役にたつ医療をすすめています」と挨拶。「ありがとうございます」

井上院長から「病院には小児科はありませんが、地域の人たちの役にたつ医療をすすめています」と挨拶。「ありがとうございます」

「今日は大変お世話になりました。感謝しております」と商店会長さんから挨拶がありました。

最後の締めは幹事からの差し入れの「栗ご飯」を頂きながら談笑。「来年も担ごうね」で意思統一し解散しました。

編集部

第12回全日本民医連 共同組織活動交流集会

全日本民医連医療機関連合会主催の第12回共同組織活動交流集会が神戸市で開催。約3300人が参加しました。

交流会に代々木病院職員3人、友の会4人が参加しました。7日は全大会でオープニングの歓迎企画で舞獅体が舞台と

開催地会長と実行委員長、兵庫副知事などの挨拶の後、憲法・平和のち輝かそうく安心して住み続けられるまちづくりのスローガンの基

調報告を東京都と神奈川の全国連絡会代表委員が報告。

記念講演は宇都宮健児氏(弁護士)憲法を守り、

生かそう! 安倍政権の暴走をストップさせ、憲法改悪を許さないために、政治的、イデオロギのの違いを超えたつながりを広げ、生活保護申請や労働組合のつくり方を教えるなど、憲法を實質化する運動を呼びかけました。

講演は藤末衛氏(全日

本民医連会長)と民医連の歴史と人権としての医療・介護をめざす提言、民医連の歴史とめざしてきた医療・事業の訓練を紹介し、「提言」が社会保障制度の改悪と医療・介護の営利産業化をすすめる政府の政策に変更を迫るものだと強調。民医連の職員と共同組織による

「時代を画す」実践と実現を訴えました。

夕食交流会が三箇所に分かれて行われました。

8日は大小約30の会場に分かれ、分科会で各地の共同組織の生々しい報告、討論会が行われました。特別分科会や動く分科会等も行われました。

幹事 塩見由重

「9条の会」再開にあたって

「憲法9条にノーベル賞を」の賛同署名を集めている実行委員会が、マレーシア・マラヤの華僑の人を中心とした市民大

今回の受賞で、9条がアジアの人々の強い願いであることを教えられました。

7月1日、集団的自衛権行使の閣議決定から一

層、憲法九条が世界から注目されています。「いまは戦前ぞっくり」と多くの発言がみられます。私の責任が問われているのではないのでしょうか。

8月23日、友の会「9条の会」が再開しました。前中野区長候補だった宮本智弁護士による講演のあと、新役員がごま

「ロコモ」の概念を提唱しました。ロコモは筋肉、骨、関節、軟骨、椎間板といった運動器に痛みや異常が起これば、歩行や日常生活に何らかの障害をきたしている状態をいいます。

「ロコモ」? 予防

「ころばん体操」が楽しみ

毎週金曜日の友の会「ころばん体操」は、筋力の低下予防、バランス能力、関節の動きをよくする簡単な体操が行われており、まさに「ロコモ」予防にぴったりの教室です。スタートから約2007年に

「ころばん体操」が楽しみました。これも皆さんの元気な笑顔に会えることを楽しみに、この教室のお手伝いをさせていただきます。ありがとうございます。

健康運動指導士・管理栄養士 堀 理佐

「ころばん体操」は、筋力の低下予防、バランス能力、関節の動きをよくする簡単な体操が行われており、まさに「ロコモ」予防にぴったりの教室です。スタートから約2007年に

「ころばん体操」が楽しみました。これも皆さんの元気な笑顔に会えることを楽しみに、この教室のお手伝いをさせていただきます。ありがとうございます。

健康運動指導士・管理栄養士 堀 理佐



代々木健康友の会 第48回定期総会方針案

「戦争する国づくり」を許さず、平和と人権、いのちを守り、誰もが安心できる「地域包括ケア」をめざし、地域と共同して、担い手づくりと強く大きな友の会へ力を尽くそう!

活動のまとめと方針

私たちがめぐる情勢

目に余る安倍政権の暴走に対する国民的批判はいっそう強まっています。

7月1日、安倍政権は集団的自衛権の行使を認める閣議決定を強行しました。まさに、憲法を破壊し『海外で戦争する国』をめざす歴史的暴挙でした。日本国憲法は、武力の行使を永久に放棄したもので、集団的自衛権行使容認の閣議決定は、憲法を真っ向から蹂躪する、憲法改憲のクーデターといふべきものです。国会にも国民にもはからず、一片の閣議決定で強行したやり方は許せません。

友の会は「友の会9条の会・再開のつどい」を開き、「戦争する国づくり」を許さない共同のたたかいを強化する決意を新たにしました。「解釈で憲法壊すな」の共同をひろ



地域医療懇談会が大盛況

げましょう。

沖縄では辺野古基地建設強行への怒りが高まっており、11月16日投票でおこなわれる沖縄県知事選挙は、米軍基地移設問題が最大の争点としてたたかわれます。民意は「新基地ノー」です。集団的自衛権行使反対、安倍政権暴走ノーを突きつける選挙です。「基地ノー」のオール沖縄と連帯し、知事選勝利へ支援を強めましょう。

福島原発事故から3年半、いまだに13万人が先の見えない避難生活を余儀なくされています。「災害関連死」は1700人を超えて増え続けています。

全国各地で粘り強く続けられている「原発ゼロ・再稼働反対」の運動が、大阪原発運転差し止めを命じた福井地裁の歴史的判決に続き、避難生活中に自ら死を選んだ女性への賠償命令を下した福島地裁の判決を勝ち取りました。どちらの判決も「人類と原発は共存できない」ということを示すものです。

いま、安倍政権は、福島原発事故がなかったかのように、鹿児島県の川内原発の再稼働に突き進んでいます。友の会は、ひきつづき、「再稼働反対・原発ゼロ」をめざす運動に全力をあげます。

消費税の8%増税が実施された4月からの3か月間、GDP(国内総生産)は大幅減、個人消費は過去最大の悪化、4月からの消費税増税が国民のくらしも経済も破壊したことが示されています。

社会保障のためといいつながら、大企業には大減税の大盤振舞いという「逆立ち」税制は許せません。友の会会員、患者さんの暮らしの実態もよくつかみ、告発して、来年10月からの消費税10%増税を絶対許さないたたかいを強めましょう。

今年2月、医療法人「徳洲会」からのヤミ献金疑惑にまみれた猪瀬前知事の辞職による知事選がおこなわれました。友の会は、「世界一働きやすく、暮らしやすい希望の東京」への転換を公約として掲げた日本弁護士連合会前会長の宇都宮けんじさんを推薦し、その勝利のために奮闘しました。宇都宮けんじ候補は当選には至りませんでした。友の会はひきつづき、都民の暮らし、福祉第一の都政を実現するために頑張ります。

安倍政権は、国民を医療から追い出し、介護を奪う「医療・介護総合法案」を強行しました。要支援者を介護給付から外し、特養ホームの入所を要介護度3以上に、さらに、利用料は一定所得以上を2割に、医療では急性期病床の9万床の削減、これでは、「医療・介護難民」続出の深刻な事態となります。

友の会は、医療・介護総合法の実施中止、医療・介護・社会保障を守る運動を地域社保協などと共同してとりくみます。また、地域の「医療・介護はまかせてよ」という構えで、代々木病院をはじめ、外苑・代々木診療所、訪問看護ステーション、さらには、町会・商店街、区の地域包括支援センターなども協力し、地域の高齢者を支える活動にとりくみます。

東葛病院のつくばエクस्प्रेस・流山センターラルパーク駅前の2016年オープンに向け、工事が急ピッチですすめられています。代々木病院は、診療所、訪問看護、福祉の事業所などと連携し、在宅医療の中核的役割を果たしています。さらに共同のとりくみを強めます。

これらの運動をすすめるにあたり、後継者が大きな課題となっています。地域の運動を支える地元の活動家がいなければ長期的な運動の展望は生まれません。地域の活動家づくりにも全力をあげます。

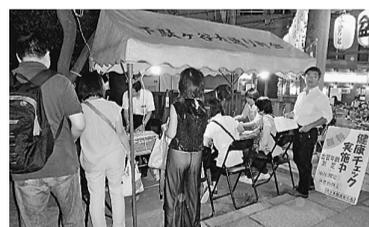
来年はいっせいで地方選挙の年です。全国津々浦々から、安倍政権の暴走政治ノー、憲法破壊、増税勢力に国民の怒りの審判を下そうではありませんか。



大島・土石流被害者宅を訪問



渋谷で平和行進



お祭りで健康チェック



毎週楽しみ「ころばん体操」

一年間の活動のまとめ

強く大きな友の会をめざし、地域の健康づくりに力をいれた一年でした。

昨秋に300人の会員拡大といつでも元氣30部の目標を掲げて取り組んだ「拡大強化月間」で、会員は182人、元氣は33部の拡大でした。そのなかで病院の仲間増やしに取り組んだ医療相談室、通所リハ室、眼科、代々木歯科などで目標を超過達成、特に、眼科では「初めて患者に声をかけるので」と経験者から学ぶ真摯な姿勢でとりくみました。

また、ころばん体操やサークル活動などの日常的な活動で拡大がすすんでいます。さらにまちづくりの視点で目標をやりきる構えを持つてとりくむことが大事な教訓でした。

友の会活動の基本は班です。しかし、現状は、高齢化がすすみ、班世話人の確保が厳しい状況にあります。そうしたなかでも、安心して住み続けられるまちづくりの視点で神宮前、代々木1・2丁目、大京町・内藤町、霞ヶ丘で班会や食事会など、地域の見守り活動、支え合い活動としてとりくんできました。食事は大好評です。「食」を据えた活動は心なごみ、絆が深まります。会場の確保や準備は困難ですが「今度いつやるの」、「美

味しかったよ」の笑顔に励まされ継続していきます。気軽に集える場所の確保が今後の課題です。

私たちの活動に元氣と喜びと確信を与えてくれたのは、ころばん体操や健康麻雀、墨の香(書道)サロンなどのサークル活動でした。どの活動も参加者が増え、「この日を楽しみにしているの」と話します。なによりも私たちの心を動かしているのは雪の日でも、雨でも、暑いさなかでも元氣に通ってくれる事です。居場所づくりとして定着しつつあります。

ころばん体操の登録者は100名を超えました。毎回新しい人の参加があります。常時30人の参加者で会場は満杯です。会場は狭いけど、スタッフの笑顔いっぱいでの対応でカバーしています。病院は、全職場からの参加を提起しています。ころばん体操を続けて一年半、補助器具がないと歩行困難だった80代の女性はころばん体操に通うようになり、補助なしで歩けるようになるという成果も出ています。

「賭けない、飲まない、吸わない」をモットーに始めた健康麻雀は、参加者の半分以上は初心者ですが、「認知症予防のため」と参加する方が多く、障害があってもできる健康麻雀をめざしています。ころばん体操やサークル活動でお友達ができ、食事やお茶をして帰るなど、仲間づくりも出ています。また「生活の中に目的ができ、生活にめりはりが出来ました」と話してくれています。健康づくり、まちづくりの一つとして地域医療懇談会を計画し、山城医師の「高齢者の目の病気」に60名が参加、一ノ瀬医師の「オシッコで悩んでいませんか」には47名参加で成功させました。案内を新聞折り込みや町会の掲示板に張り出し、会場周辺にはチラシを配布、区内介護事業所には郵送、職員と友の会で患者さん、会員訪問など様々な広報活動にとりくみました。「初めての企画なので失敗してはいけない」講師の先生のためにもいっぱい集めなければ」と必死でした。参加者からも喜ばれ、次回を期待する声が聞かれ、



楽しい「食事会」



一泊で福島支援ツアー



待合室でふれあいコンサート



歩こう会で自然を満喫

参加できなかった人からは「聴きたかった」と惜しまれる程でした。

こうしたとりくみは、地域の町会や商店街主催の餅つき、一日バスハイク、盆踊りでの健康チェック、祭りの神輿担ぎや休憩所の設置などで信頼関係が深まっています。友の会・病院の存在がしっかり地域に根付きつつあります。

熱中症対策と見守り活動では、千駄ヶ谷、神宮前の患者さん、友の会会員を対象としておこないました。熱中症に対する関心、意識の高まりはありますが、まだまだ啓蒙活動をすすめる必要があります。クーラーがなく、扇風機も使わないで生活を送っている人への援助は地域包括支援センターに繋げ、介護が必要と思われる人には介護事業所に結びつけるなど、少しでも良い環境で生活出来るよう援助をしています。渋谷区への要望、懇談も行っています。毎年粘り強く行うことで、区の地域包括支援センターの増設や見守り活動の強化などに結びついています。

健康づくりの重点としてとりくんでいる外来人間ドックは159名(昨年170名)、乳がん検診24名、(昨年42名)、子宮がん検診は33名(昨年38名)、前立腺がん検診は62名(昨年73名)が受診しました。健康まつりは昨年から土曜日に開催、地域の「まつり」として定着できるよう力をいれてきました。

また、病院と友の会は定期的に医療と経営、友の会活動について協議し、協力共同の関係を深めています。ほぼ毎月おこなわれている医療を良くする会(院所利用委員会)や倫理委員会に代表を送り、患者さんからの投

書にもとづく改善のための議論や「終末期医療」についての議論に参加しています。共同墓地は今年で12回目の合同慰霊祭を行いました。着実に会員が増えています。

平和と社会保障、文化・レクリエーション活動

平和を守る活動では、6日、9日に核兵器廃絶、原発ゼロを求める宣伝・署名行動やシール投票なども行い、とりくんできました。原水禁世界大会には代表2人を送り出しました。「戦争を語り継ぐ会」では「敗戦時、満州での7歳の女の子のこころ」と題した福下和子さんのお話を伺いました。第五福竜丸の見学にとりくみ、秘密保護法の強行採決、集団的自衛権の行使容認が閣議決定されるなか、「友の会9条の会」を再開しました。

社会保障を守る活動は、国会で「医療・介護総合法」が審議されるなか、傍聴、座込み、要請行動に取組みました。「社保セミナー」ではさくら福祉会の戸倉専務を講師に「地域包括ケア」を学びました。また、毎月、専門部会前に千駄ヶ谷駅での宣伝を開始しました。文化・レクリエーション活動ではバスハイクで水戸偕楽園と袋田の滝へ、一泊旅行では福島支援ツアーにとりくみ、昇仙峡と富士五湖の旅を満喫しました。またハンセン病資料館の見学とあわせ、多磨生全園でのお花見も行いました。俳句の会も継続しています。

学習教育と宣伝の活動

安倍内閣の暴走「ノー」のキャンペーンをおこない、「くら健」を活用して各種集会へ

の参加、署名運動を推進しました。また、仲間増やしや健康づくり、新しい企画を連続掲載、青空健康チェック、食事会などの地域の活動、班会・サークル班活動を繰り返し紹介しました。

保健・ボランティア、組織を強く大きくする活動

現在、年間500名の会員拡大目標達成に向け奮闘中です。

友の会では、日ごろのつながりや新しいサークル活動、共同墓地が増やしました。退院患者さんへの入会案内の郵送や通所リハビリの患者さんへの入会のお誘いを行いました。毎月待合室行動を実施し、会員拡大、税社保障一体化法案反対と消費税増税反対の署名を職員ととりくみました。青空健康チェックは、鳩森神社、代々木診療所と病院前で実施しました。また、千駄ヶ谷祭り、千駄ヶ谷教館祭りや鳩森神社の盆踊りでの健康チェックは好評でした。高齢者の居場所作りにも積極的に取り組みました。神宮前2丁目、霞ヶ丘団地、代々木1・2丁目、大京町・内藤町で「楽しく昼食を食べる会」を行いました。一人暮らしの高齢者が多く毎回来しみにしていると好評です。班を中心にした居場所づくりや食事会の開催は、今後介護保険改悪により要支援1・2の方が介護外しとなり、より重要になってきています。

今年も、熱中症計とアンケート用紙を持って、千駄ヶ谷全域と神宮前を中心に友の会の高齢会員宅への訪問活動や、電話でのお元気でさかコールなど、職員と一緒に実施しました。2月と6月に「待合室コンサート」開き、入院患者さんをはじめ70名以上が参加しました。「ころばん体操」「墨の香サロン」「ジョギング(マラニック)」「健康麻雀」「布あそび」のサークルは、順調に参加者が増えています。

「男の料理教室」は、隔月で実施し、楽しく和やかなサークル活動が進んでいます。ヨリガ教室は、毎週月曜日に開催しています。

健康づくりに役立っていると好評です。歩こう会は、御岳山や皇居東御苑周辺など5回実施しました。都内の公園や名所を巡り毎回10名以上が参加しています。

来年度の活動方針

安倍内閣は、閣議決定で集団的自衛権の行使を容認、「日本を戦争する国」につくり変えようとしています。いのちの平等を守り、平和と人権が輝く国づくりは国民の願いです。「海外で武力行使はしてはならない」「戦闘地へ行ってはならない」この歯止めとなっている憲法9条を守るたかひをすすめます。「友の会9条の会」を中心に草の根の活動を活発に、創造的に展開します。

沖繩の新基地建設ノー、原発再稼働反対、原発ゼロの日本をめざします。そのため運動を進めていきます。今なお原発事故の被害で苦しんでいる福島支援をすすめます。医療介護総合法の成立によって、いのちと介護が守れなくなっていくます。実施中止を求め活動と同時に、無差別、平等の「地域包括ケア」の確立に向けた運動を、友の会の活動の柱に据えてとりくみます。

これまで積み上げてきた実績を活かし、町会、商店街との結び付き、千駄ヶ谷まつり、ころばん体操や地域医療懇談会、熱中症予防のための訪問活動と広報カーの運行、渋谷区に対する予算要望書の提出と懇談などを通して、地域の健康づくりを新しい住民運動の立場で発展させていきます。

そのためにも担い手づくりが要となります。友の会の存在と役割を知ってもらい、班活動を活性化していきます。またヨリガ教室、墨の香サロンなどのサークル活動に参加している会員を視野に入れながら、担い手づくりに着手していきます。会員構成員5000名の峰をめざします。

平和を守る活動では核兵器の廃絶・原発ゼロを求め、引き続き6・9行動にとりくみます。

平和と社会保障、文化・レクリエーション活動

平和を守る活動では核兵器の廃絶・原発ゼロを求め、引き続き6・9行動にとりくみます。

す。原水禁世界大会への代表派遣、「戦争を語り継ぐ会」も継続してとりくみます。特に、秘密保護法廃止、集団的自衛権行使容認の撤回、憲法改悪を許さない活動を地域のなかで大いにとりくみます。

社会保障を守る活動では、「医療・介護総合法」が強行採決・成立しました。この法律の内容を「社保セミナー」などでしっかりと学び、地域に知らせていきます。文化・レクリエーション活動では年2回の「バスハイク」、春の「お花見」を計画します。「俳句の会」も継続しながら、映画・演劇などの文化活動にも力を入れていきます。

学習教育と宣伝の活動

引き続き安倍政権の暴走ストップのキャンペーンをおこないます。地域や班の活動、サークルの活動の紹介、会員、職員が登場できる紙面づくりと合わせて工夫した「くら健・友の会ページ」をめざします。

保健・ボランティア、組織を強く大きくする活動

毎年着実に前進できるよう、年間400名の会員、「いつでも元気」50部の拡大をめざし、会員と職員が協同してとりくみます。班会を基礎にして会員同士の交流を深め、空白地域の班づくり、休眠班の活動再開をすすめます。また、班を中心にした高齢者の居場所づくりをめざし、お食事会を拡大します。

地域の青空健康チェックや熱中症予防の活動を旺盛にすすめます。また、大腸がん検診、前立腺がん検診、子宮がん検診、乳がんのマンモグラフィ、乳房エコー検診、さらに、友の会健診と外来人間ドックを大いにとりくみます。

保健学校を開催し、青空健康チェックや班会の担い手を多数つくります。今年新たに「釣りサークル」をつくり、会員の交流をすすめます。歩こう会や各種サークルは参加者といっしょに計画をたて魅力ある内容にします。

今年新たに「釣りサークル」をつくり、会員の交流をすすめます。歩こう会や各種サークルは参加者といっしょに計画をたて魅力ある内容にします。

日本高齢者大会に 参加してきました

第28回日本高齢者大会が9月12〜13日、富山県で開催、全国から5347人が参加しました。1日目は7つの講座16の分科会があり、私は「住民参加で地域丸ごと支え合う町づくりの取り組みの活動」の分科会に参加しました。

愛知年金者組合では、全会員にアンケートを実施、ボランティアを受け



2日目は池田香代子さんの記念講演「平和な未来をきずく」と、福島と沖縄からの地域報告がありました。池田さんは、安倍首相の言っていることの嘘を見抜く力の大切さ、日本の子ども犯罪率は世界的にとても低く、世界の学者たちはその理由として、70年代近く戦争の無い平和な国で育っているためだと思ってい

る」と話し「戦前戦中戦後生きてきた豊富な経験と力を発揮し、子どもや孫に平和な日本を引き継ぎましょう」と訴えました。

福島から「今の厳しい現状と辺野古に新基地を作るお金と人があるなら、福島にまわすべき」と訴え、会場から賛同の

大きな拍手が起こりました。沖繩から「海にも陸にも基地はいらない、これが沖繩人の思い、11月の県知事選挙で勝利し、辺野古基地を断念させるため、全国の高齢者のみなさんのパワーも必要です。」と訴え連帯の拍手

に包まれました。「全国の高齢者と家族のみなさん！愛する子どもや孫たちの明日のために、今こそお互いの人生を寄せ合って心一つに、平和と福祉と人権を地域から広げましょう！」の大会アピールを会場いっぱい鳴り響く拍手で採択

し大会は終わりました。全国各地で活動している70代、80代、90代の方々のエネルギーに60代の私は「疲れた〜」なんて言っていられないなく（独り言）と感じた2日間でした。同年代のみなさん一緒にやりませんか。幹事 中西 範子

渋谷区政

異常な事態

区民不在の庁舎建替え

渋谷区の大騒動に発展しそうなのが、区庁舎の建替え問題。

桑原区長が区民に何も



知らせず、区長と議会多数でゴリ押ししていることです。その内容は、区民の財産を三井不動産に70年間貸出し、地上37階の分譲マンションを建てさせ、その見返りとして、154億円で庁舎と公会堂を建て替えるというもの。

福井典子さん（渋谷区保協会長）、須藤正樹さ

ん（代々木法律事務所・弁護士）らが呼びかけ人となっている「庁舎の耐震問題を考える会」が主催して、9月1日、庁舎建替え問題学習会が開かれ、120人が参加しました。

代々木総合法律事務所の久保木亮介弁護士が「誰のための区庁舎建替えか」と題した講演をおこない、区庁舎と公会堂の敷地は区民の貴重な共有財産であるのに、区民不在のまま区庁舎の建替

え計画が進むという異常事態だと指摘しました。「考える会」は、区民に何も知らせず、区民の財産を民間企業に差し出し、儲けさせるような計画は白紙に戻し、区庁舎のあり方は区民参加で練り上げてほしいという署名に取り組んでいます。

1階友の会コーナーなどに署名用紙がありま



新国立競技場計画は、所在地が渋谷区と新宿区にまたがり、延床面積はロンドンオリンピックの施設の3倍、敷地はその70%、狭い敷地に建

ます。工費が周辺整備を含め1625億円です。近隣住民などから「マンションの前に高さ70mの巨大建物は圧迫感を与える」、「住環境の悪化が不安」など多くの専門家や都民、区民から疑問、批判の声が上がり、抜本的見直しを求めています。日本経済新聞が7月21日に報道した世論調査では、解体せず改修を求める声は76%を占めています。また、原科幸彦東工大名誉教授を代表する参加と合意形成研究会が千駄ヶ谷1、2、神宮前2丁目の訪問調査では、景観など環境への影響に対して自由回答では79%が計画への懸念を示していることが報告されています。いまこそ質素な五輪を望む声が多数ではないでしょうか。

解体「談合疑惑」

新国立競技場建設に「待った」

2020年東京オリンピックのメイン会場となる国立競技場の解体工事を開始が「官製談合の疑い」で住民説明会は混乱しています。9月16日には、解体に反対する市民らが都庁で会見をし、解体ではなく、現在の国立競技場を改修して使い続けるよう求める要望を続けてきたものです。

新国立競技場計画は、所在地が渋谷区と新宿区にまたがり、延床面積はロンドンオリンピックの施設の3倍、敷地はその70%、狭い敷地に建

近隣住民などから「マンションの前に高さ70mの巨大建物は圧迫感を与える」、「住環境の悪化が不安」など多くの専門家や都民、区民から疑問、批判の声が上がり、抜本的見直しを求めています。日本経済新聞が7月21日に報道した世論調査では、解体せず改修を求める声は76%を占めています。また、原科幸彦東工大名誉教授を代表する参加と合意形成研究会が千駄ヶ谷1、2、神宮前2丁目の訪問調査では、景観など環境への影響に対して自由回答では79%が計画への懸念を示していることが報告されています。いまこそ質素な五輪を望む声が多数ではないでしょうか。

お知らせ

こころばん体操

▽10月3日・10日・17日・24日・31日の毎週金曜日
▽午前10時30分〜12時
▽日パピル102
▽参加費1回毎1000円

ヨーガ教室

▽10月6日・20日・27日の毎週月曜日
▽午前10時〜11時30分
▽場所はふれあい会館
▽会費月2100円

俳句の会

▽会員募集中！
▽10月1日（水）2時30分〜4時30分
▽日パピル102号（変更あり）
▽会費10000円

書道サロン

▽10月6日・20日（月）1時30分〜3時
▽日パピル102号
▽参加費1回毎3000円

健康麻雀

▽10月7日（火）・22日（水）2時〜4時
▽日パピル102号
▽参加費1回毎2000円

布遊び

▽10月22日（水）午後2時〜4時まで
▽代々木病院東館地下会議室
▽参加費5000円（非会員6000円）

住宅リフォー

▽10月20日（月）です。
▽病院2階待合室
▽電話でのご相談もお受けします。友の会事務所にご連絡ください。

ジヨギング

▽10月19日（日）
▽東京体育館・広場中央時計塔9時集合。四谷・飯田橋の土手を走りま

男の料理教室

▽11月15日（土）6時より
▽代々木病院東館地下（社教館工事のため場所の変更あり）
▽参加費10000円

すべての行事等の問い合わせ

は、友の会事務局までお願いします。
1階待合室の友の会事務所は平日は10時から4時まで、この時間以外は2階広報室でご用件をつけたりします。土曜日、休日はお休みです。
直通番号 (5411) 9589
ファックス (3404) 3421

薬剤師募集!!

私たちの合言葉は「命は平等」
平和と人権を守る、民医連の薬局です

連絡先 (株)外苑企画商事 電話03(3402)2108

●たくみ外苑薬局
渋谷区千駄ヶ谷1-29-3
日本パーティビル
電話03(3497)5741
Fax 03(3497)5742

●つくし薬局
新宿区大久保2-7-1
大久保ビル
電話03(5292)3952
Fax 03(5292)3953

●神宮前薬局 (渋谷区)
電話03(3404)5990

●わかば薬局 (流山市)
電話04(7159)8502